## その他

# 文字種の変換

# 入力補助

# 入力補助画面の表示

・長文を入力したいセルを選択して実行すると、入力補助画面を表示します。

・複数行のセルを選択して実行すると、複数行をテキスト形式で編集できます。

・テキストを選択して、右クリックメニューを使えば文字種の変換が出来ます。

# 選択範囲の変更や記憶

実行すると、下記のダイアログが、表示されます。

選択領域の変更が行えます。

選択した領域を記憶させて、「前回の領域の復元」を使って再選択させることも出来ます。

# 列の選択／行の選択

複数の範囲の列や行を選択したい場合、Ctrl + クリックで個別セルを複数選択してから、実行すると便利です。

# 整理/クリア

# A1選択

全てのシートの倍率を100%にして、A1セルを選択します。

あわせて、改ページプレビューを解除します。

# 書式や数式の反映

数式や値が文字列になった時、書式を反映します。

また、数式の再計算を強制的に実行させたいときに使用します。

※Shift押下で数式を値に変換します

# ユーザ定義スタイルの削除

ユーザ定義のスタイルをすべて削除します。

# ユーザ定義の名前の削除

ユーザ定義の名前をすべて削除します。

# ユーザ設定のビューの削除

ユーザ設定のビューをすべて削除します。

# 面積ゼロの図形の選択

アクティブシート上のぺちゃんこになっている図形を選択します。

不要であればDeleteキーで削除して下さい。

# 罫線と同化した直線の選択

アクティブシート上の罫線と同化した直線を選択します。

不要であればDeleteキーで削除して下さい。

# エラーの数式の選択

数式がエラーになっているセルを選択します。

不要であればDeleteキーで削除して下さい。

# 条件付き書式の統合

条件付き書式が同一のものを統合します。

詳しくは[こちらの記事](https://qiita.com/takahasinaoki/items/898078ec37591a380cc1)をご覧ください。

# 標準フォントの変更

# ＭＳゴシックに変更

標準スタイルのフォントを「ＭＳゴシック」に変更します。

[こちら](Tips.htm#ChangeNormalFont)の方法で、標準フォントを好みのフォントにカスタイマイズ可能です。

# 選択されたセルに標準フォントを適用

選択されたセルに標準フォントを適用します。

# 図形に標準フォントを適用

選択された図形に標準フォントを適用します。

図形が選択されていない時は、アクティブシートのすべての図形に標準フォントを適用します。

# A1⇔R1C1切替

A1形式とR1C1参照形式を相互に切替えます。

# 最後のセルの最適化

CTRL + End でジャンプするセルの範囲を最適化します。